

4月15日開催
【ウェブセミナー】Clarivate Chemistry Researchのご紹介

No.	質問	回答
1	クラスターマップの解析件数に制限がありますか？把握しやすい件数などありますか？	解析件数に制限はございません。 検索後に出願人・公報発行日・ポリマーの観点などで絞り込んだものをクラスターマップに掛けると把握し易くなると思います。
2	案件が重要かはテーマによって違うと思いますが、重みづけはどうなるのですか？	「いいね」ボタンに関連するご質問だと思いますが、ユーザーが重要と判断し「いいね」ボタンの効果は該当の特許・文献と検索キーワードとの関連度を学習しています。 以前の調査テーマと異なり、検索キーワードが異なれば、「いいね」の効果は表れません。
3	化学分野調査で得意な分野はポリマーだけですか？低分子はどうですか？	現在のClarivate Chemistry Researchはポリマー分野を得意としています。今後ユーザーの方のフィードバックを得ながら、他の化学分野のための強化を検討していきます。
4	Chemistry Researchで検索できる、特許、非特許文献の収録範囲はどの程度でしょうか？ DWPIのデータベースとは関連性があるでしょうか？	特許はDWPI（Derwent World Patents Index）のデータ（59カ国、全技術分野）、公報フルテキスト（75カ国、全技術分野）特許書誌事項（100カ国以上、全技術分野）を収録しています。 学術文献は、Web of Science Core Collectionのデータ（全分野）を収録しています。 「DWPIのデータベース」はDerwent Innovationのことを指していると思われますが、Clarivate Chemistry ResearchのデータはDerwent Innovationのデータと類似しています。但し現在のところ、これらのツール間での連携はまだなされていません。
5	ある案件にテーマAの観点で重要と評価したと仮定して、テーマBで新たに調査した時はどのように判断されますか？	重要と評価した「いいね」ボタンの効果は、該当の特許・文献と検索キーワードとの関連度を学習しています。そのため、テーマBの調査時のキーワードがテーマAと異なっていれば、「いいね」の効果は表れません。
6	エルゼビアのスコーパスエンジンの統制語解析と類似しています。クラスター図よりも単純なリスト化の方がベターと思いました。	ご意見を頂きましてありがとうございます。可視化の方法は改善をしていく予定です。是非フリーアクセスでお試し頂き、今後とも率直なご意見を頂ければと思います。